2019年3月期　ミニディスクロージャー

TOMATO通信

第136期 営業のご報告
(2018年4月1日～2019年3月31日)

普通銀行への転換ならびに社名変更30周年

がんばろう!岡山

(瀬戸内市牛窓町)

取締役社長 髙木晶悟

平素よりトマト銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。
このたび2018年度のミニディスクロージャー（営業のご報告）を作成いたしましたので、ご高覧ください。

Q 2018年度の業績は？

A 人口減少や少子高齢化をはじめとする地域社会の構造的な課題に加え、低金利政策の長期化などにより、地域金融機関にとっては厳しい経営環境が続いています。

このような環境のもと、当社は、2018年4月から2021年3月までの3ヵ年を計画期間とした中期経営計画「第2次 みらい創生プラン」を推し進めており、2018年度の経営成績は、次のとおりとなりました。

経常収益は、貸出金利回りの低下による貸出金利息の減少等により、前期比3.7%減の180億73百万円（計画比△1億26百万円）となりました。経常利益は、役務取引等利益の減少、与信関連費用の増加などから前期比19.9%減の18億31百万円（計画比+1億31百万円）となり、当期純利益は前期比16.8%減の12億82百万円（計画比+82百万円）となりました。低金利環境が続くなかで前期比では減収減益となりましたが、経常利益、当期純利益はともに計画を上回ることができました。

Q トマト銀行に社名変更して30年になりますね。

A 当社は、1989年（平成元年）4月1日、普通銀行への転換を機に山陽相互銀行からトマト銀行に社名変更し、2019年（平成31年）4月1日に30周年を迎えました。この間、バブル経済の崩壊、デフレ不況、リーマン・ショックなどの数々の出来事を乗り越え、無事に30周年を迎えることができましたのは、地域の皆さま、株主の皆さまからこれまでご愛顧いただいた賜物であり、心から感謝申し上げます。また、昨年7月の集中豪雨によって岡山県にも大きな被害がありました。被害にあわれた方に改めてお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を願い、支援に取り組むことが地域金融機関としての使命と考えています。

つきましては、2019年度は30年の感謝の想いをこめた地域貢献と復興支援の取り組みを強化してまいります。第一弾として、手数料の一部を岡山県内の地方公共団体に寄付する「トマト地方創生私募債」および豪雨災害からの復興を支援する「トマト復興応援私募債」の寄付額を増額いたしました。また、5月20日からは、お預入総額に応じて寄付を行う「トマト復興応援定期預金」の取り扱いを開始いたしました。

今後も、地域が元気になる取り組みを積極的に行ってまいります。

Q 現在注力している取り組みは？

A 当社は、お客さまに徹底的に寄り添うビジネスモデルである「本業支援・最適提案」を深化させ、お客さま本位の業務運営を徹底することで、お客さまとの共通価値の創造を目指しています。

特に2016年度から取り組んでいる「本業支援アクショ

ン先活動」は、お客さまの販路拡大やコスト削減など、成果も出始めています。「本業支援アクション先活動」とは、経営レポート（事業性評価シート）を作成して、お客さまの課題解決に向けた事業の本業支援を行う活動で、取り組み実績は2019年3月末時点で累計2,067先となりました。また、「本業支援アクション先活動」のなかで、お客さまに提案しているビジネスマッチング、販路拡大、事業承継などの本業支援策の成約件数も順調に増加しております。この「事業の本業支援」に加え、資金繰りや財務基盤の強化を目的とした「財務の本業支援」をあわせて提案する「二刀流作戦」を展開することで、当社を確固たるメイン行としてご利用いただけるよう、サービスの充実に努めております。

これらの取り組みは、お客さま本位でなければ成果は生まれません。お客さまを第一に考え、お客さまの成長や発展につながる提案を続けることで、結果的に、当社をメイン行として選んでいただけると思っております。成果があがるまでには時間がかかりますが、この取り組みを粘り強く、全社を挙げて取り組むことで、お客さまと当社がともに成長し、お客さまとの共通価値の創造につながる好循環が生まれるものと考えています。

また、2019年1月にトマトリース株式会社を完全子会社化し、グループをあげて「本業支援」を展開する態勢を構築いたしました。

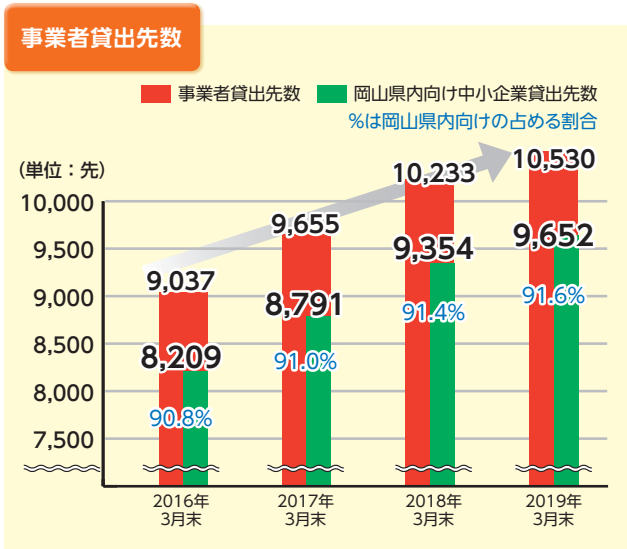
Q 株主の皆さま、お客さまへのメッセージ

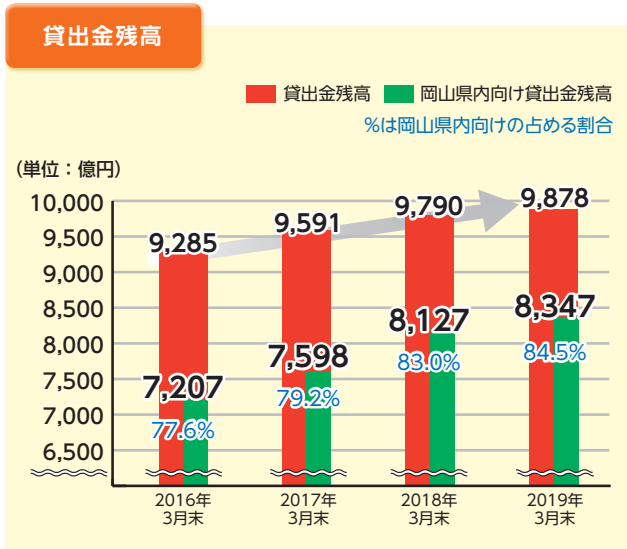
A トマト銀行は、明るく元気で庶民的、親しみやすくフレンドリーな銀行として地域の皆さまに可愛がられ、愛されてきました。平成から令和の時代となり、金融業界も、異業種からの金融サービスへの参入、人工知能などのデジタル技術の進展などによって大きな変化が起きています。しかし、時代が大きく変わっても「人と人のつながり」は欠かせません。当社はこれからも「人と人のつながり」を大切にして、確固たる信頼を築き、地域の皆さまから選んでいただける銀行を目指してまいります。

そして、困った時こそしっかり応援させていただく「相互扶助」の精神を胸に、地域金融機関として、地域社会の発展に向けて努力してまいりますので、地域の皆さま、株主の皆さまにおかれましても、引き続き変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申しあげます。

2019年6月

地域の中小企業を応援します





夢をかなえ、地域の未来を創造する銀行へ

中期経営計画
「第2次 みらい創生プラン」
2018年4月～2021年3月（3ヵ年）

基本方針

お客さまに徹底的に寄り添い、当社のビジネスモデルである「本業支援」「最適提案」を更に深化することで、お客さま・地域・当社の持続的成長・発展を実現する

重点目標

1.ビジネスモデルの深化を通じた地域経済活性化への貢献および収益力の強化
2.持続的・安定的な成長を支える確固たる経営基盤の確立
3.全社員が活躍できる働き方改革の促進

ビジネスモデルの更なる深化～本業支援「二刀流作戦」の展開～

本業支援　第1フェーズ
トマトみらい創生プラン
（2015年度～2017年度）

お客さまの「稼ぐ力」の向上

主な支援メニュー

- 創業・新事業支援
- 販路開拓支援
- M&A支援
- 事業承継支援
- 海外進出支援
- コスト削減支援

事業の本業支援

本業支援　第2フェーズ
第2次 みらい創生プラン
（2018年度～2020年度）

お客さまの「稼ぐ力」の向上と
お客さまの財務基盤の強化

二刀流作戦

事業の本業支援
＋
財務の本業支援

従来の「事業の本業支援」に加え、
「財務の本業支援」を新たに開始しました。

本業支援の更なる深化
（2021年度～）

お客さまの夢の実現に向けて
地域経済の活性化に向けて

本業支援

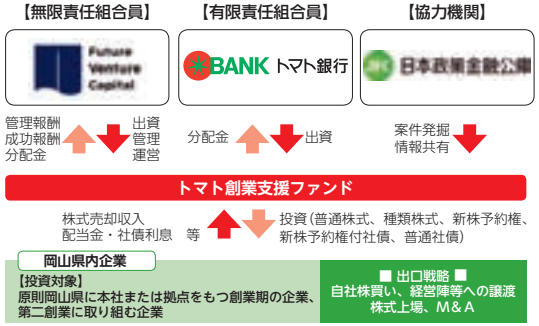
- **事業の本業支援**
  お客さまの将来ビジョンや課題などをしっかりと理解し、その実現や課題解決に向けた最適な提案を行うことで、事業の成長を支援する活動
- **財務の本業支援**
  事業性評価やキャッシュフローの把握などにより、お客さまの資金繰りや財務基盤の強化などを支援する活動

本業支援 二刀流作戦（事業・財務の本業支援）でお客さまをより強力にサポートします

創業・新事業

創業や新規事業の展開を目指すお取引先を支援するため、本部内に相談窓口「創業支援デスク」を設置し、資金調達、支援機関や大学等との連携、補助金の申請サポートなど、幅広いソリューションを提供しています。2017年10月に設立した「トマト創業支援ファンド」では、設立から2019年3月末までに7社へ投資を行っています。

トマト創業支援ファンド



創業支援ファンド取り組み事例（2018年度 実績）

2018年5月（第3号案件）
株式会社ミーニュー
投 資 額：9百万円
事業内容：献立作成サービス【me：new】の企画・製作・運営

2018年5月（第4号案件）
果樂（から）株式会社
投 資 額：4百万円
事業内容：農業（桃生産）、農産物加工品販売

2018年8月（第5号案件）
株式会社エナジーフロント
投 資 額：10百万円
事業内容：介護用品・衣料・雑貨の製造販売等

2018年10月（第6号案件）
フェムトディプロイメンツ株式会社
投 資 額：20百万円
事業内容：電磁波による液体状態検査装置の開発・製造・販売

2019年2月（第7号案件）
株式会社TRY HOOP
投 資 額：15百万円
事業内容：プロバスケットボールチームの運営
（敬称略）

成 長

経営レポート（事業性評価シート）

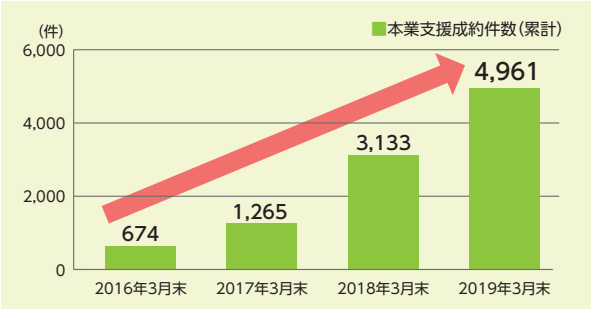
お取引先の売り上げ目標や達成への課題などをまとめた経営レポートを作成し、役員や本部関係部署と経営課題の解決に向けた提案や支援を検討する報告会を定期的に開催しています。

本業支援アクション先活動報告会

ビジネスマッチング

当社が提携するさまざまなネットワークを活用し、各種商談会の開催やビジネスマッチングなどにより、お取引先の新たな販路拡大をサポートしています。また、海外での販路拡大等を目指すお取引先を対象に、海外バイヤーとの現地商談会の開催など、海外進出支援にも取り組んでいます。

トマト台湾食品商談会in台北

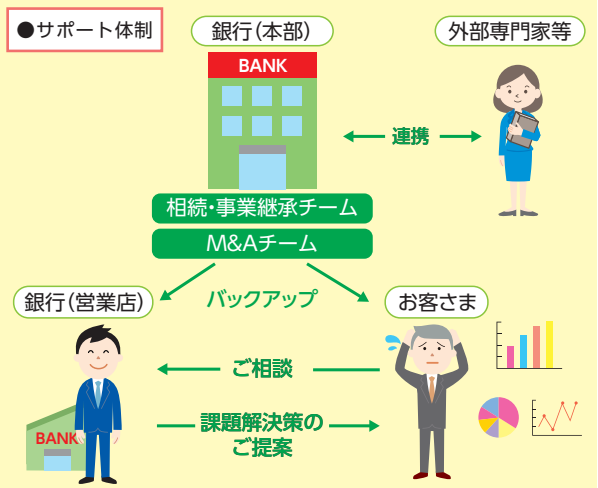


成 熟

相続・事業承継

相続セミナー

経営者の高齢化や後継者不在を背景に、お取引先の相続・事業承継ニーズが高まっています。当社では、こうしたニーズにお応えするため、専門性の高いスキルを持った社員を配置した相続・事業承継チームおよびM＆Aチームを本部内に設置し、外部提携先と連携を図りながら、お取引先の抱える相続・事業承継の課題解決をサポートしています。



夢をかなえ、地域の未来を創造する銀行へ

最適提案 お客さまのライフイベントに合わせた商品・サービスを提供します

	独身世代 進学・就職	ファミリー世代 結婚・出産 住宅取得・進学	退職世代 退職・年金受取	シニア世代 医療・介護 相続
ためる・ふやす	○総合口座 ○スーパー積金 ○積立式定期預金 ○一般財形預金 ○NISA・つみたてNISA ○積立投資信託	○スーパー定期預金 ○財形住宅預金 ○財形年金預金 ○投資信託 ○ジュニアNISA ○オープン外貨定期預金Win ○公共債	○大口定期預金 ○年齢優遇定期預金 「円熟世代」	○相続定期預金
かりる	○カードローン ○マイカーローン ○フリーローン	○住宅ローン　○フラット35、50 ○リフォームローン ○住宅ローンご利用者向けローン ○教育ローン・カードローン ○カードローン ○マイカーローン ○フリーローン	○セカンドライフ応援ローン ○先進医療ローン	○空き家活用ローン
そなえる	○個人年金保険（平準払い型） ○がん保険 ○医療保険 ○iDeCo（イデコ）	○個人年金保険　○がん保険 ○医療保険　○終身保険（平準払い型） ○学資保険　○収入保障保険 ○傷害保険 ○iDeCo（イデコ） ○火災保険	○個人年金保険（一時払い型） ○終身保険（一時払い型）	○個人年金保険（一時払い型） ○終身保険（一時払い型） ○教育資金贈与預金 「みらいへのおくりもの」
便利につかう	○給与振込 ○トマトMOTTOカード （クレジットカード一体型キャッシュカード） ○インターネット・モバイルバンキング ○トマト銀行アプリ ○ネット決済・電子マネーチャージサービス ○LINE@公式アカウント	○取引ステージ優遇サービス 「トマト・スマイルプログラム」 ○インターネット投信サービス ○自動送金サービス ○「ももっこカード」保有者向け優遇制度 ○公共料金自動振替 ○住宅ローンセミナー	○年金受取サービス ○退職金・年金受取口座ご予約サービス ○退職金運用向け金利優遇サービス 「セカンドプラスα」 ○年金相談会 ○貸金庫	○財産承継プランニング ○遺産整理業務 ○相続セミナー ○トマト・セカンドライフノート

いつでも、どこでも、かんたんに、便利なお取引を

ネット決済・電子マネーチャージサービスを拡大

2019年3月、「J-Coin Pay」、「メルペイ」に当社口座からチャージできるようになりました。

ポイント1 **手数料無料！**
口座情報の登録、チャージに手数料はかかりません。

ポイント2 **かんたん、らくらく！**
アプリから口座情報を登録するだけでご利用が可能。お金の管理がもっとかんたんに！

ポイント3 **リアルタイムで決済！**
平日夜間、土日祝休日でもチャージOK！

【取り扱いサービス】

Yahoo! JAPAN ウォレット
LINE Pay
J-Coin Pay
R Edy
Pay

詳細はHPをご覧ください。
https://www.tomatobank.co.jp/personal/service/denshi_money/index.html

ローンのお申し込みからご契約までWEBで完結

2018年11月、トマト・カードローン「キューリ」のＷＥＢ契約を開始しました。
銀行へご来店いただくことなく、インターネットやスマートフォンで24時間365日お手続きが可能です。

トマト銀行の「ＬＩＮＥ@」公式アカウントを開設

2018年12月、「ＬＩＮＥ@」にトマト銀行公式アカウントを開設しました。キャンペーンやお得な情報などを配信していますので、ぜひ友だち登録をしてご利用ください。
※LINEのご利用設定につきましては、お客さまのご判断でお願いします。

アカウント名：
トマト銀行
アカウントＩＤ：
@tomato_bank

スマートフォン向け「トマト銀行アプリ」の提供を開始

普通預金口座のキャッシュカードをお持ちの個人のお客さま向けに、スマートフォン向け「トマト銀行アプリ」を提供しています。
インターネットバンキング契約のないお客さまでも、24時間・365日いつでも口座の残高・入出金明細をご確認いただけます。

トマト銀行アプリ

※こちらのQRコードを読み込んでください。

トマト銀行のESG活動

ESGってなに？ ESGとは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）という3分野の英語の頭文字を取ったものです。近年、企業価値の向上を支える重要な要素として認識され、経営戦略として取り組む企業が増加しています。

Environment ～環境～

豊かな故郷の自然を次世代へ

1.業務を通じた環境への取り組み

環境に配慮した商品・サービスの提供を通じて、お客さまの環境保全活動を応援しています。

- ●トマト環境格付融資、トマト環境配慮型融資の推進
- ●トマト・エコ私募債の受託
- ●太陽光発電事業等に係る専門家との提携による各種セミナーの開催
- ●トマト・ＥＣＯ（エコ）定期預金の取り扱い
- ●環境・新エネルギー分野への積極的対応

トマト・ECO（エコ）定期預金 寄付金贈呈式

2.オフィスにおける環境配慮活動の推進

オフィスでの省エネルギー・省資源およびリサイクル活動を推進し、環境への負荷低減に取り組んでいます。

- ●環境に配慮した店舗づくり
  太陽光発電設備、ＬＥＤ照明、省エネ型空調設備
- ●省エネ（節電）やリサイクルの推進
- ●環境配慮型社用車の導入（電動自動車、電動バイク）
- ●クールビズ、ウォームビズの実施

太陽光発電設備

3.地域における環境配慮活動の推進

社会貢献活動を通じた地球温暖化防止と環境保全につながる取り組みを推進しています。

- ●岡山県の一級河川 旭川の一斉清掃への役職員によるボランティア参加
- ●「トマト銀行6時間リレーマラソン」におけるカーボン・オフセットの実施

※カーボン・オフセットとは、自社の温室効果ガス排出量を、他の場所での排出削減・吸収量、もしくはクレジット購入によりオフセット（埋め合わせ）することをいいます

旭川一斉清掃

Social ～社会～

活力ある地域社会の実現に向けて

1.金融教育への取り組み

地域の小学生を対象に、お金や銀行の仕組みなどについての金融授業のほか、銀行の窓口体験や模擬紙幣を使った紙幣の数え方体験などを通じて、金融に関する正しい理解や関心を深めていただくことを目的に、2008年より「夏休み！トマト銀行子ども探検隊」を開催しています。

夏休み！トマト銀行子ども探検隊

2.スポーツ支援への取り組み

スポーツを通じた地域貢献活動として、お預入総額に応じてチーム強化資金などを贈呈する応援定期預金などを取り扱っています。

- ●地元サッカーチーム応援定期預金の取り扱い
  - ファジアーノ岡山応援定期預金
  - 岡山湯郷Belle応援定期預金
  - 吉備国際大学シャルム岡山高梁応援定期預金
- ●トマト・スポーツチーム応援型私募債の取り扱い

ファジアーノ岡山 チーム強化資金贈呈式

3.地方創生への取り組み

2018年11月、お客さまよりいただく私募債発行手数料の一部をお客さまの希望する岡山県内の地方公共団体へお客さまと当社の連名で寄付する「トマト地方創生私募債」の取り扱いを開始しました。
第1号案件となったユアサシステム機器株式会社様が発行された「トマト地方創生私募債」では、岡山県瀬戸内市の「山鳥毛」里帰りプロジェクトへ寄付金を贈りました。

トマト地方創生私募債　寄付金贈呈式

4.地域の安心・安全への取り組み

当社は、子どもたちが交通事故に遭わずに毎日安全に通学してほしいとの願いを込めて、毎年、岡山県および県内の市町へ横断旗、夜光タスキを贈呈しています。これまで横断旗約39万1千本、夜光タスキ約2万3千本などを贈呈し、交通事故防止にお役立ていただいています。（2019年4月時点）

交通安全用品贈呈式

5.ユニバーサルデザインの推進

当社では、年齢や障がいの有無にかかわらず、すべてのお客さまに安心・安全にご利用いただける銀行を目指し、店舗などの「ハード面」、代筆・代読などの「ソフト面」、お客さま応対力の向上を目的とする社員教育などの「サービス面」の3つの側面からユニバーサルデザインの取り組みを推進しています。

疑似体験学習（アイマスク体験）

6.ダイバーシティの推進

当社は、年齢や性別などにかかわらず、従業員一人ひとりがそれぞれ持つ能力や個性をフルに活用して、思う存分活躍できる環境づくりに取り組んでいます。
こうした中、育児期間中のキャリアアップ支援など、仕事と育児の両立支援を推進する働きやすい企業としての取り組みが評価され、中国地方の金融機関で初めて厚生労働大臣より「プラチナくるみん」の認定を受けました。

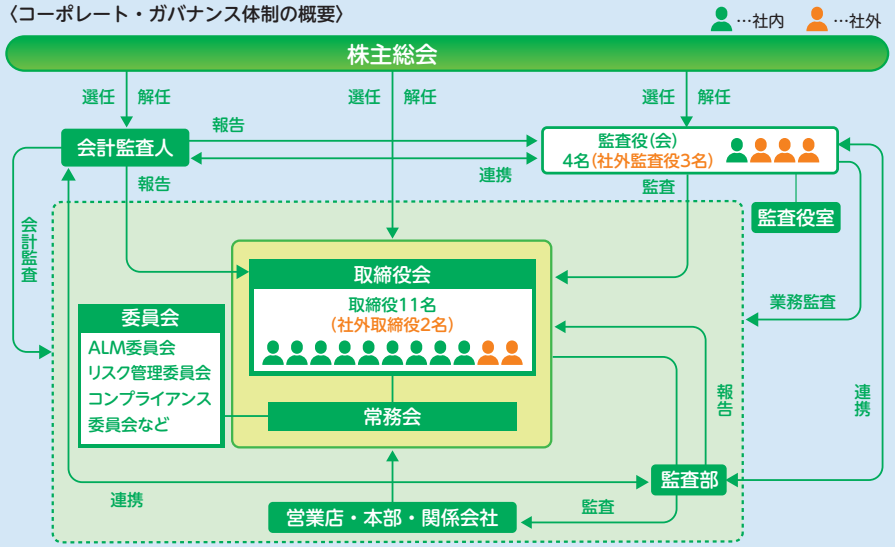
Governance ～ガバナンス～

ガバナンスの強化・拡充に向けて

1.コーポレート・ガバナンスの充実

適切なコーポレート・ガバナンス体制を構築し、公正で透明性のある意思決定を実現しています。また、豊富な経験と高い専門知識を有する社外取締役２名（うち女性1名）、社外監査役3名を選任し、監査・監督機能の実効性を確保しています。

〈コーポレート・ガバナンス体制の概要〉



2.グループ経営の強化

2019年1月にトマトリース株式会社の株式を追加取得し、完全子会社化しました。これにより当社のビジネスモデルである「本業支援」を展開するうえでの提供ソリューションを強化するとともに、グループ全体のガバナンスを一層強化していきます。

おかげさまで普通銀行への転換ならびに社名変更30周年

平成の時代とともに歩んだトマト銀行
これまでも、そしてこれからも、お客さまや地域と寄り添い、感謝の気持ちを胸に、ともに歩み続けます

新行名記者発表

キャラクター・デザイン発表

新語・流行語大賞 新語部門「銅賞」を受賞

当時の制服（コシノヒロコ氏デザイン）

トマト銀行キャラクター
トックン

トマト銀行の社名の由来
トマト銀行の社名は、トマトのもつみずみずしく、新鮮で、明るく健康的なイメージが、当社の目指すべき企業イメージとピッタリ合うということで発案されたものです。当社がトマト銀行に社名を変更した当時（平成元年）は、カタカナの社名の銀行すら珍しい時代でしたので、トマト銀行の社名は全国的に新聞･週刊誌等に取り上げられ、その年の新語・流行語大賞（新語部門・銅賞）にも選ばれました。

BANK
トマト銀行のシンボルマークは、円形の赤い実と放射状の緑のがくをあしらった「トマト」の絵部分と「BANK」の文字部分をあわせたユニークな絵文字シンボルで、当社の進歩的でクリエイティブな企業風土とユニークな活動を展開する決意をあらわしています。当社は、この絵文字シンボルを「トマト・アイデンティファイア」と呼び、看板、通帳、帳票、パンフレット等に統一して使用し、当社の視覚的イメージの高さ、ユニークさを一貫して人々に伝達しています。

当社の概要（2019年3月31日現在）

本店所在地	岡山市北区番町2丁目3番4号
創立年月日	1931（昭和6）年11月9日
資本金	178億1,000万円
預金	1兆1,395億円
貸出金	9,878億円
店舗数	61ヵ店(岡山県53ヵ店、兵庫県4ヵ店、広島県・大阪府・東京都各1ヵ店、インターネット支店1ヵ店)
社員数（嘱託・パート社員除く）	846名

役員（2019年6月27日現在）

取締役社長（代表取締役）	髙木晶悟	取締役	横井手慎也	取締役※1※3	上岡美保子
常務取締役	中山雅司	取締役	延永邦彦	常勤監査役	古武卓弥
常務取締役	福井康人	取締役	井上正樹	監査役※2※3	吉岡一巳
常務取締役	坂手計之	取締役	中浩二	監査役※2※3	三宅昇
常務取締役	冨田洋之	取締役※1※3	小川洋	監査役※2※3	奥田哲也

※1は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。※2は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。※3は、東京証券取引所へ届出を行っている独立役員であります。

トマト銀行グループ（2019年3月31日現在）

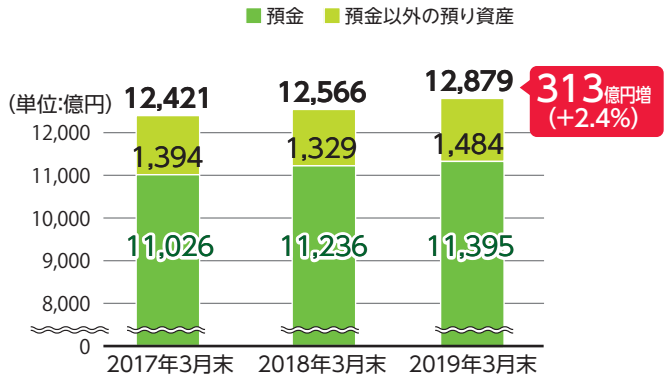
トマトビジネス株式会社	トマトカード株式会社	トマトリース株式会社
銀行業務の後方事務	クレジットカード業務	リース業務
当社出資比率　100%	当社出資比率　100%	当社出資比率　100%

業績ハイライト（単体）

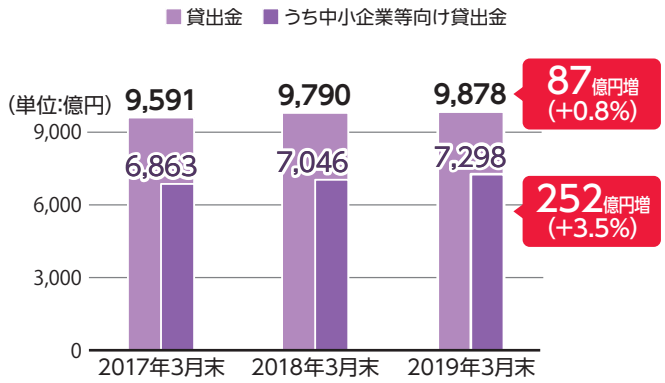
2018年度の業績

- 業容面では、預り資産・貸出金ともに、引き続き順調に増加しました。
- 損益面では、低金利政策の長期化の影響を受け、減収となりました。また、役務取引等利益が減少したことなどにより、経常利益・当期純利益は減益となりました。

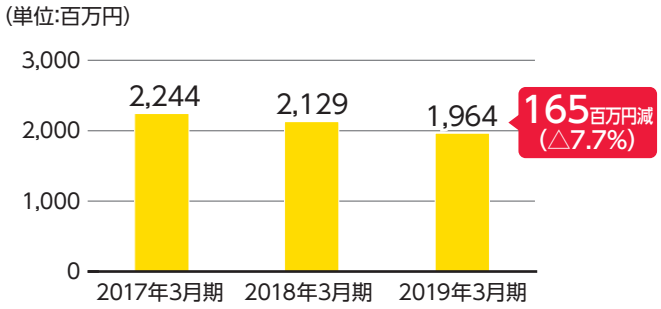
預り資産



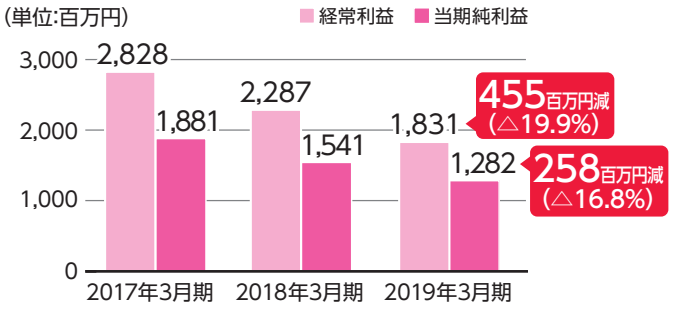
貸出金



コア業務純益



経常利益・当期純利益



自己資本比率・不良債権比率

(単位：%)

項目	2017年3月末	2018年3月末	2019年3月末
自己資本比率	8.66	8.12	8.05
不良債権比率	2.23	2.06	2.18

株式の状況・株式のご案内（2019年3月31日現在）

株式の状況

●発行済株式総数 … 18,679,030株（普通株式11,679,030株、第1回A種優先株式7,000,000株）

●株主総数 … 7,812名（普通株式7,793名、第1回A種優先株式19名）

株式のご案内

●決算日　毎年3月31日

●定時株主総会　毎年6月に開催します。

●基準日　定時株主総会　毎年3月31日　期末配当金　毎年3月31日
中間配当金　毎年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

●公告方法　電子公告とします。
インターネットホームページ
http://www.tomatobank.co.jp/
ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞および岡山市において発行する山陽新聞に掲載して公告します。

●株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関　東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

●株主名簿管理人事務取扱場所　大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社　証券代行部

郵便物送付先　〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社　証券代行部

電話照会先　0120-782-031

（インターネットホームページURL）
https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】
株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先にお願いします。

<単元未満株式の買取または買増請求について>
単元未満（100株未満）の株式につきましては、買取または買増を請求いただくことができます。そのお手続きを希望される場合には、単元未満株式が証券会社等の口座に記録されている株主様はお取引の証券会社等へ、特別口座に記録されている株主様は特別口座の口座管理機関（三井住友信託銀行株式会社 0120-782-031）へ、それぞれお申し出ください。

瀬戸内市

瀬戸内市は、瀬戸内海に面する岡山県の東備エリアに位置し、瀬戸内海国立公園を形成する海や海岸線をはじめ、緑豊かな丘陵などの自然に恵まれた美しい景観や西日本有数のスケールを誇るヨットハーバーなどがあり、観光客が多く訪れます。古くから瀬戸内市は、開けたまちとして栄え、神社仏閣や城跡などの史跡、竹久夢二の生家や備前長船の刀剣など多彩な歴史・文化資源があります。

穏やかな瀬戸内海を望む「牛窓オリーブ園」があり、オリーブを使った製品のお土産が有名です。

夢二郷土美術館 夢二生家記念館・少年山荘

瀬戸内市邑久町出身で大正浪漫を代表する詩人画家竹久夢二のふるさとで夢二芸術の原点が体感できる美術館。夢二が16歳までを過ごした部屋も残る築約250年の茅葺屋根の生家では肉筆作品を、夢二自らが設計したアトリエ兼住居を復元した「少年山荘」では夢二がデザインした作品等を展示しています。納屋を改装したカフェ「椿茶房」では京都の和菓子作家杉山早陽子による夢二をイメージした季節の和菓子も楽しめます。

夢二郷土美術館 夢二生家記念館提供

備前おさふね刀剣の里 備前長船刀剣博物館

鎌倉時代より日本刀の生産地として栄えた瀬戸内市長船町にある、全国でも珍しい日本刀専門の博物館。施設内に設けられた備前長船刀剣工房、備前長船鍛刀場では実際に職人が日本刀を作る様子を公開しています。月に１度、約1200度の高熱で玉鋼（たまはがね）を打ち延ばす「古式鍛錬」の見学が可能です。職人が力強く鋼を打ち、火花が飛び散る様子は迫力満点です。

出典元：備前おさふね刀剣の里
備前長船刀剣博物館

牛窓神社

牛窓海水浴場の横の石段を登った林の中に、牛窓古代神話の主神、神功（じんぐう）皇后の神霊を祭った東備の鎮守・牛窓神社があります。家内安全や開運厄払い、交通安全、良縁祈願などを願う参拝者も数多くいます。そして本殿は、近世の社寺建築の粋を凝らしたもので、瀬戸内市の重要文化財に指定されています。

瀬戸内Kirei 太陽光発電所

晴れの日が多く温暖な瀬戸内市は、太陽光発電に最適な地域のひとつです。
瀬戸内海に面して広がる錦海塩田跡地の東京ドーム約56個分に相当する約260ヘクタールに、一般家庭８万世帯分の年間消費電力に相当する電力を供給できる国内最大級のメガソーラー「瀬戸内Kirei太陽光発電所」が建設されました。

2019年6月発行
株式会社トマト銀行　経営企画部
〒700-0811　岡山市北区番町2-3-4　TEL086-800-1830
ホームページ　http://www.tomatobank.co.jp/

UD FONT
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

VEGETABLE OIL INK
この報告書は環境に配慮した植物油インキを使用しています。